

## 3. 補強計画事例(部分改修)

(様式7-2 耐震補強計画報告書【部分改修】)

### 耐震補強計画報告書

物件名 : □□ △△ 様邸耐震補強計画

作成年月日 : 令和4年〇〇月〇〇日

この日付が  
表紙の年月日となる。

建築士事務所名 : 福島建築設計事務所

代表者氏名 : 耐震 一郎

担当者氏名 : 耐震 太郎

#### ① 耐震補強計画建築物概要

建物名称	□□ △△ 様邸耐震補強計画		
所在地	福島県〇〇市〇〇町〇〇番地		
工法・階数	<input checked="" type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> その他 ( )		( 2 )階建て
竣工年次	西暦 1976 年	和暦 昭和51年	
耐震性能目標値	<input checked="" type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.7		
地域係数(Z)	<input checked="" type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7	軟弱地盤	<input type="checkbox"/> 1.5 <input checked="" type="checkbox"/> 1.0
積雪	積雪深さ 0.50 m		
	補強前		補強後【対象部分のみ】
床面積	対象部分の延床面積		
3階	m <sup>2</sup>		
2階	33.12 m <sup>2</sup>		13.25 m <sup>2</sup>
1階	110.97 m <sup>2</sup>		16.56 m <sup>2</sup>
合計	144.09 m <sup>2</sup>		29.81 m <sup>2</sup>
形状割増係数	短辺長さ 4.55m	形状割増係数 1.15	
仕上・構造			
屋根仕様	瓦葺き		既存のまま
外壁仕様	モルタル塗り		既存のまま
内壁仕様	PB下地京壁仕上げ・合板貼り仕上げ		構造用合板(補強部)
	<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input checked="" type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物		<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input checked="" type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物
床仕様	火打+荒板	<input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	既存のまま <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III
基礎形式	ひび割れのある鉄筋コンクリート布基礎	<input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	健全な鉄筋コンクリート布基礎(補強部) <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III
主な柱の径	通柱 120mm 管柱 105mm <input type="checkbox"/> 120mm以上		通柱 120mm 管柱 105mm <input type="checkbox"/> 120mm以上

対象部分の面積を記入すること

② 耐震補強計画の結果

i 補強方法(補強する要素を全てチェックする。)

耐力要素の補強	<input type="checkbox"/> 筋かいの部材を太くする <input type="checkbox"/> 筋かい端部を金物で補強する <input type="checkbox"/> 面材による壁の補強 <input type="checkbox"/> 劣化部分の補修	小屋組の補強	<input type="checkbox"/> 梁の補強・小屋筋かい等 <input type="checkbox"/> 屋根の形状を変える
耐力要素の増設	<input type="checkbox"/> 筋かいを増設する <input checked="" type="checkbox"/> 面材による壁を増設する	基礎の改良	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎の割れを直す <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート基礎にする
耐力要素の配置	<input type="checkbox"/> 壁をバランス良く配置する <input type="checkbox"/> 増改築で平面のバランスを整える	新技術の採用	<input type="checkbox"/> ダンパーの取り付け <input type="checkbox"/> 補強フレームの取り付け <input type="checkbox"/> その他
水平構面の補強	<input type="checkbox"/> 火打ちを取り付ける <input type="checkbox"/> 床を合板等で補強する	重量の軽減	<input type="checkbox"/> 建物重量を軽減する
		その他	

ii 上部構造の耐震補強計画結果比較表【建物全体】

階	方向	補強前						補強後						比較
		壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点	
3	X													
	Y													
2	X	13.54	0.720	0.89	8.67	20.33	0.42	13.54	0.720	0.89	8.67	20.33	0.42	OK
	Y	11.13	1.000	0.89	9.91		0.48	11.13	1.000	0.89	9.91		0.48	OK
1	X	21.59	1.000	0.89	19.22	67.99	0.28	39.40	1.000	0.89	35.07	67.99	0.51	OK
	Y	36.18	0.918	0.89	29.55		0.43	54.38	0.820	0.89	39.69		0.58	OK

※比較の欄では、補強前と補強後の上部構造評点を比較して、補強後の数値が補強前の数値より低い場合は「NG」が表示される。その場合は補強計画を見直す必要がある。

iii 「部分改修」部分の上部構造評点【目標値1.5以上】

階	方向	上部構造評点
1	X	1.98
	Y	1.82

電算出力データの【上部構造評点】より

Excelの計算シート(次頁)より

iv 総合所見

利用することが多い1階和室1部屋のみ補強を行い、部分評点が目標値を満たす結果となりました。(②-iii)  
 また、建物全体として、改修後の上部構造評点が改修前を下回らないことを確認しました。(②-ii)

電算出力データの【その他注意事項】

v 「部分改修」部分の上部構造評点の比較

: 手入力      : 自動計算      : 診断結果

**必要耐力・保有耐力(診断時)**      地域係数Z= 1.0

必要耐力(精算法)								
階	面積 (㎡)	重い建物 必要耐力 (kN/㎡)	QK 1 (kN/㎡)	QK 2 (kN/㎡)	QK 3 (kN/㎡)	QK 4 (kN/㎡)	QK 5 (kN/㎡)	必要耐力 (kN/㎡)
2階	33.12	0.40		1.53				0.61
1階	110.97	0.92	0.58					0.53

階	床面積 (㎡)	基本耐力 (kN/㎡)	積雪必要耐力 (kN/㎡)	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	1階非木造 割増係数	必要耐力 Qr (kN)
2階	13.25	0.61	0.00	1.00	1.00	1.000	1.000	8.13
1階	16.56	0.53	0.00	1.00	1.00	1.150	1.000	10.15

上部構造評点								
階	方向	壁の耐力 Qw (kN)	その他の耐力 Qe (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有耐力 edQu	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
1階	X方向	3.67	1.11	1.000	0.89	4.25	10.15	0.42
	Y方向	7.05	0.00	0.918	0.89	5.76	10.15	0.57

X方向耐力 集計

壁符号	壁耐力要素 Qwi	その他耐力要素
W15	1.08	
W16	1.08	
W17	1.51	
W24		0.51
W25		0.45
W26		0.15
合計	3.67	1.11

Y方向耐力 集計

壁符号	壁耐力要素 Qwi	その他耐力要素
W2	4.33	
W3	2.72	
合計	7.05	0.00

**必要耐力・保有耐力(補強時)**      地域係数Z= 1.0

必要耐力(精算法)								
階	面積 (㎡)	重い建物 必要耐力 (kN/㎡)	QK 1 (kN/㎡)	QK 2 (kN/㎡)	QK 3 (kN/㎡)	QK 4 (kN/㎡)	QK 5 (kN/㎡)	必要耐力 (kN/㎡)
2階	33.12	0.40		1.53				0.61
1階	110.97	0.92	0.58					0.53

階	床面積 (㎡)	基本耐力 (kN/㎡)	積雪必要耐力 (kN/㎡)	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	1階非木造 割増係数	必要耐力 Qr (kN)
2階	13.25	0.61	0.00	1.00	1.00	1.00	1.000	8.13
1階	16.56	0.53	0.00	1.00	1.00	1.150	1.000	10.15

上部構造評点								
階	方向	壁の耐力 Qw (kN)	その他の耐力 Qe (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有耐力 edQu	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
1階	X方向	21.47	1.11	1.000	0.89	20.10	10.15	1.98
	Y方向	25.25	0.00	0.820	0.89	18.43	10.15	1.82

電算出力データ【壁の耐力の算出】のうち各壁の耐力Qwiより

電算出力データ【上部構造評点】より

X方向耐力 集計

壁符号	壁耐力要素 Qwi	その他耐力要素
HW15	9.10	
HW16	4.73	
HW17	7.64	
W24		0.51
W25		0.45
W26		0.15
合計	21.47	1.11

Y方向耐力 集計

壁符号	壁耐力要素 Qwi	その他耐力要素
W2	4.33	
W3	2.72	
HW41	9.10	
HW42	9.10	
合計	25.25	0.00

vi 概算工事費(この費用に設計・監理料や諸雑費は含みません。)

概算補強箇所		数量	単位	単価	金額
基礎箇所数(3尺換算の箇所数)・1階		2	箇所	25,000	50,000
補強壁箇所数(3尺換算の箇所数)・1階		5	箇所	120,000	600,000
劣化部分の補修費用 ※布基礎の補修も含む			式	50,000	50,000
サッシ交換費用			箇所		0
建具交換費用		1	箇所	80,000	80,000
仮設費			式	100,000	0
諸経費			式	300,000	0
【備考】					
1)本概算は、(一財)日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震補強の実務を参考資料として作成しました。				合計	780,000
2)本資料は、あくまで概算資料であるので、別途正式な見積を工事業者へ依頼してください。				消費税(10%)	78,000
				税込金額	¥858,000

※基礎箇所数においては、補強すべき基礎の状況に応じて適切に算出すること。

数量と図面と整合しているか確認してください。

2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法  
一般診断法による診断プログラム Wee2012(Win10)

# 「一般診断法」による補強計算

方法1、精算法ルート

一般財団法人 日本建築防災協会

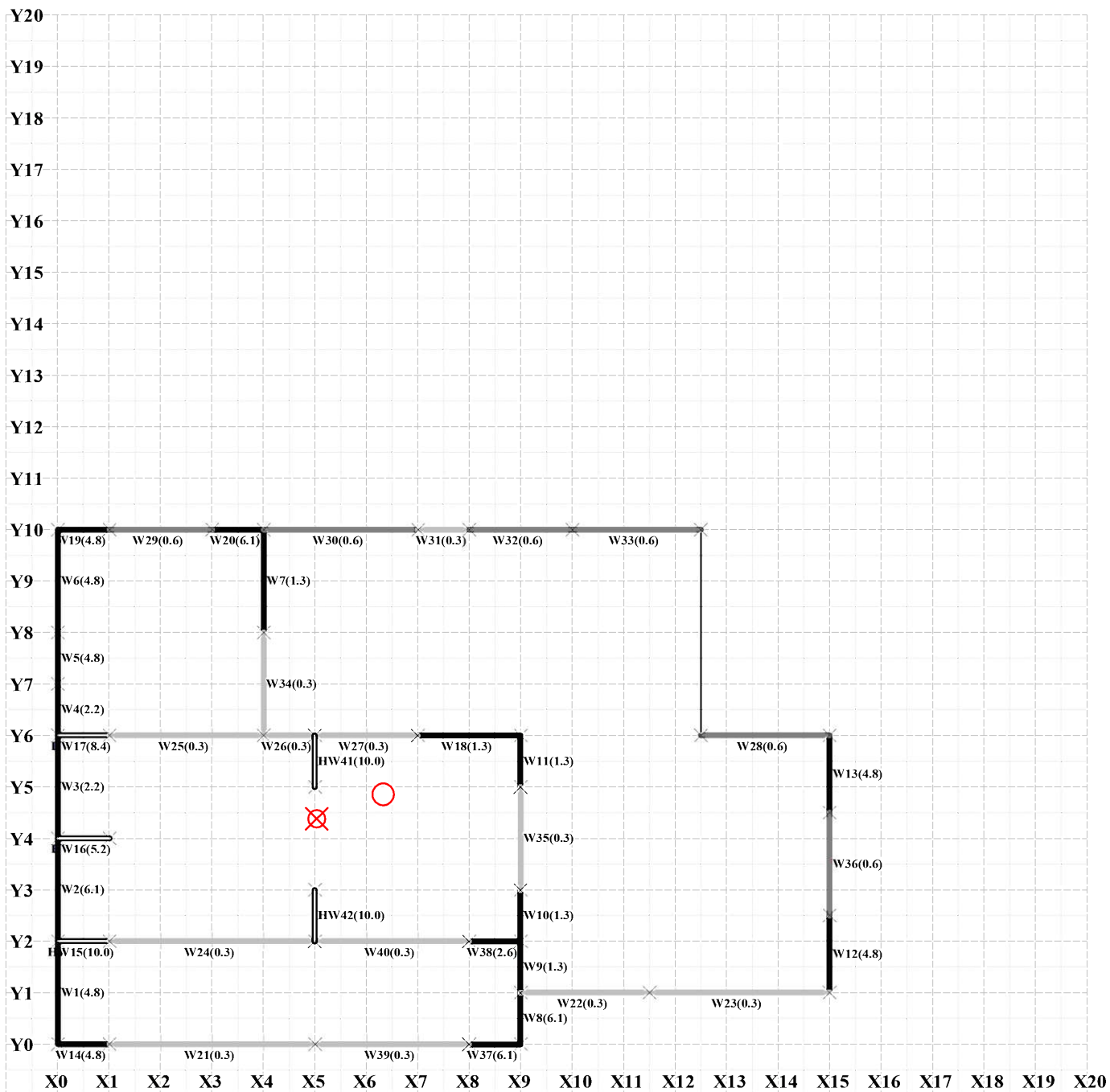
\* 方法1は、在来軸組構法や枠組壁工法など、壁を主な耐震要素とした住宅を主な対象とする。  
\* 精算法ルートは、「必要耐力」に精算法を、「耐力要素の配置等による低減係数 $eKf1$ 」に偏心率を用いた計算方法です。

## 1. 建物概要

① 建物名称	:	〇〇邸
② 所在地	:	福島県〇〇市〇〇町〇〇番地
③ 竣工年	:	昭和 51年 築10年以上 ※調査日: R4年 月 日
④ 建物仕様	:	木造2階建 重い建物 (屋根仕様: 桧瓦葺等 壁仕様: ラスモルタル外壁 + ボード内壁)
⑤ 地域係数 Z	:	1.0
⑥ 地盤による割増	:	1.0
⑦ 形状割増係数	:	1階 = 1.15
⑧ 積雪深	:	無し(100cm未満)
⑨ 基礎仕様	:	Ⅱ <small>ひび割れのある鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎、無筋コンクリートの布基礎、柱脚に足固めを設け 鉄筋コンクリート底盤に柱脚または足固め緊結した玉石基礎、軽微なひび割れのある無筋コンクリート造の基礎</small>
⑩ 床仕様	:	Ⅱ 火打ち + 荒板 (4m以上の吹き抜けなし)
⑪ 主要な柱の径	:	120mm未満
⑫ 接合部仕様	:	Ⅳ ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
* パスとファイル	:	C:\¥User¥PC-User¥Desktop¥sample¥〇〇邸部分改修1.5.w20

## 2. 壁配置図

1階 (1モジュール=910mm)



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力

HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁

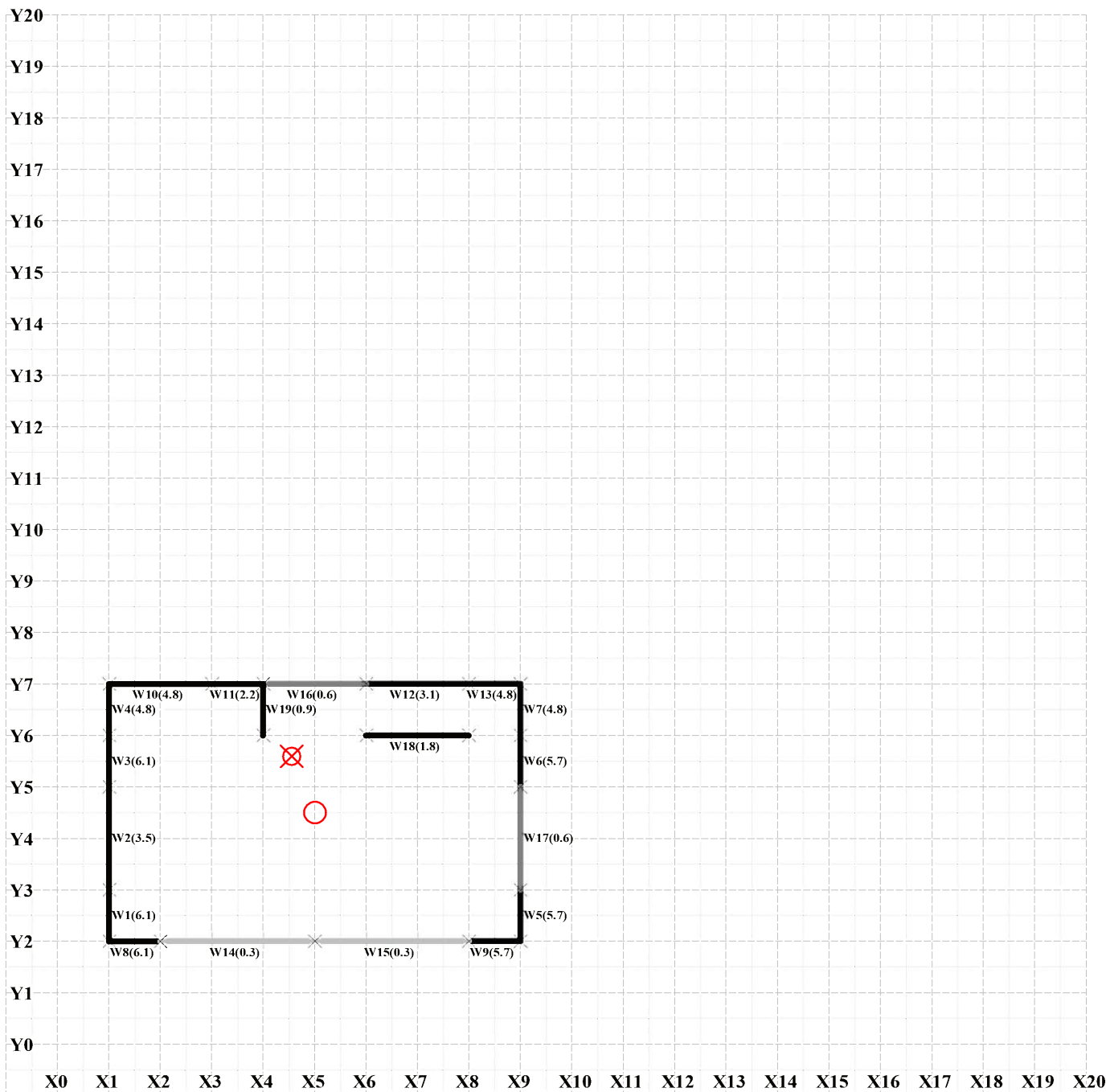
— 無開口壁 — 窓型開口壁 — 掃出し型開口壁

○: 重心位置

⊗: 剛心位置

1階の面積 = 110.97

2階 (1モジュール=910mm)



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁   ■ 窓型開口壁   ■ 掃出し型開口壁

○: 重心位置

⊗: 剛心位置

2階の面積 = 33.12

■部材リスト [その他(別添仕様)がある場合は、具体的仕様がわかる資料を添付]  
 [HWi, HCi, HTi,HTKiは補強した部材又は補強のために設ける部材を示す。]

## &lt;1階&gt; 壁

W1	(X0,Y0)-(X0,Y2)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 ー
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W2	(X0,Y2)-(X0,Y4)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W3	(X0,Y4)-(X0,Y6)	壁基準耐力=2.2 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W4	(X0,Y6)-(X0,Y7)	壁基準耐力=2.2 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W5	(X0,Y7)-(X0,Y8)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W6	(X0,Y8)-(X0,Y10)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W7	(X4,Y8)-(X4,Y10)	壁基準耐力=1.3 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W8	(X9,Y0)-(X9,Y1)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W9	(X9,Y1)-(X9,Y2)	壁基準耐力=1.3 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し



		外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W10	(X9,Y2)-(X9,Y3)	壁基準耐力=1.3 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W11	(X9,Y5)-(X9,Y6)	壁基準耐力=1.3 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W12	(X15,Y1)-(X15,Y2.5)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W13	(X15,Y4.5)-(X15,Y6)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W14	(X0,Y0)-(X1,Y0)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW15	(X0,Y2)-(X1,Y2)	壁基準耐力=10.0 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様)
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎
HW16	(X0,Y4)-(X1,Y4)	壁基準耐力=5.2 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎
HW17	(X0,Y6)-(X1,Y6)	壁基準耐力=8.4 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様) (kN/m) 芯 : 3.2 筋かい木材45x90以上,BP-2または同等品(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎
W18	(X7,Y6)-(X9,Y6)	壁基準耐力=1.3 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し

		外面: 0 無し
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W19	(X0,Y10)-(X1,Y10)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W20	(X3,Y10)-(X4,Y10)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W21	(X1,Y0)-(X5,Y0)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W22	(X9,Y1)-(X11.5,Y1)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W23	(X11.5,Y1)-(X15,Y1)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W24	(X1,Y2)-(X5,Y2)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W25	(X1,Y6)-(X4,Y6)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W26	(X4,Y6)-(X5,Y6)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様
W27	(X5,Y6)-(X7,Y6)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁

		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W28	(X12.5,Y6)-(X15,Y6)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W29	(X1,Y10)-(X3,Y10)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W30	(X4,Y10)-(X7,Y10)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W31	(X7,Y10)-(X8,Y10)	壁基準耐力=0.3 (kN/m)	外面: 0 掃き出し型開口壁 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W32	(X8,Y10)-(X10,Y10)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W33	(X10,Y10)-(X12.5,Y10)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W34	(X4,Y6)-(X4,Y8)	壁基準耐力=0.3 (kN/m)	外面: 0 掃き出し型開口壁 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W35	(X9,Y3)-(X9,Y5)	壁基準耐力=0.3 (kN/m)	外面: 0 掃き出し型開口壁 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様:同建物概要の接合部仕様	
		基礎仕様:同建物概要の基礎仕様	
W36	(X15,Y2.5)-(X15,Y4.5)	壁基準耐力=0.6 (kN/m)	外面: 0 窓型開口壁 芯 : 0 窓型開口壁

		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W37	(X8,Y0)-(X9,Y0)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W38	(X8,Y2)-(X9,Y2)	壁基準耐力=2.6 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W39	(X5,Y0)-(X8,Y0)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W40	(X5,Y2)-(X8,Y2)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW41	(X5,Y5)-(X5,Y6)	壁基準耐力=10.0 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様) (kN/m) 芯 : 0 - 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様)
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎
HW42	(X5,Y2)-(X5,Y3)	壁基準耐力=10.0 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様) (kN/m) 芯 : 0 - 外面: 5.2 構造用合板(耐力壁仕様)
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: I 健全な鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎
<2階> 壁		
W1	(X1,Y2)-(X1,Y3)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W2	(X1,Y3)-(X1,Y5)	壁基準耐力=3.5 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W3	(X1,Y5)-(X1,Y6)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋)

		外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W4	(X1,Y6)-(X1,Y7)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W5	(X9,Y2)-(X9,Y3)	壁基準耐力=5.7 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0.9 合板(厚3以上)
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W6	(X9,Y5)-(X9,Y6)	壁基準耐力=5.7 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0.9 合板(厚3以上)
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W7	(X9,Y6)-(X9,Y7)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W8	(X1,Y2)-(X2,Y2)	壁基準耐力=6.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 1.3 ラスボード下地しっくい塗り
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W9	(X8,Y2)-(X9,Y2)	壁基準耐力=5.7 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0.9 合板(厚3以上)
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W10	(X1,Y7)-(X3,Y7)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W11	(X3,Y7)-(X4,Y7)	壁基準耐力=2.2 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W12	(X6,Y7)-(X8,Y7)	壁基準耐力=3.1 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0.9 合板(厚3以上)
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W13	(X8,Y7)-(X9,Y7)	壁基準耐力=4.8 外面: 2.2 木ずり下地モルタル塗り壁 (kN/m) 芯 : 2.6 筋かい木材45x90以上,釘打ち(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
W14	(X2,Y2)-(X5,Y2)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁

		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様
W15	(X5,Y2)-(X8,Y2)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様
W16	(X4,Y7)-(X6,Y7)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様
W17	(X9,Y3)-(X9,Y5)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様
W18	(X6,Y6)-(X8,Y6)	壁基準耐力=1.8 外面: 0.9 合板(厚3以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0.9 合板(厚3以上)
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様
W19	(X4,Y6)-(X4,Y7)	壁基準耐力=0.9 外面: 0.9 合板(厚3以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様 : 同建物概要の接合部仕様

### 3. 必要耐力の算出 (精算法)

A : 床面積 (m<sup>2</sup>)

Q<sub>y</sub> : 床面積当たり必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)

Q<sub>s</sub> : 積雪用必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)

qK1 : 解表3.3、平屋建て以外の式の第2項に用いる係数。平屋建ての場合は1.0とする。

qK2 : 解表3.3、3階建ての2階の式の第3項に用いる係数。それ以外は1.0とする。

Z : 地域係数

α : 地盤による割増係数

β : 形状割増係数

γ : 混構造割増係数

Q<sub>r</sub> : 必要耐力 (kN)

階	A	Q <sub>y</sub>	Q <sub>s</sub>	qK1	qK2	Z	α	β	γ	Q <sub>r</sub>
2	33.12	0.40	0.00	1.535	1.00	1.0	1.0	1.0	1.0	20.33
1	110.97	0.92	0.00	0.579	1.00	1.0	1.0	1.15	1.0	67.99

### 4. 重心計算

W : 均し重量係数 (kN/m<sup>2</sup>)

	重い建物
屋根	2.00 + 0.0105 × t
床	2.60

t : 多雪区域の積雪深(cm)、多雪区域以外は0とする。

A : 床面積 (m<sup>2</sup>)

β : 形状割増係数

X、Y: 図心座標(m)

重心:  $X_g = \Sigma(w \times \beta \times A \times X) / \Sigma(w \times \beta \times A)$      $Y_g = \Sigma(w \times \beta \times A \times Y) / \Sigma(w \times \beta \times A)$

方向	階	項目	W	β	A	W × β × A	X	W × β × A × X	X <sub>g</sub>
X	2	屋根	2.00	—	33.12	66.25	4.55	301.43	4.55
		床	2.60	1.15	33.12	99.04	4.55	450.64	
	1	屋根	2.00	—	110.97	221.93	6.22	1379.79	
		(計)				320.97		1830.42	
方向	階	項目	W	β	A	W × β × A	Y	W × β × A × Y	Y <sub>g</sub>
Y	2	屋根	2.00	—	33.12	66.25	4.10	271.29	4.10
		床	2.60	1.15	33.12	99.04	4.10	405.57	
	1	屋根	2.00	—	110.97	221.93	4.53	1005.26	
		(計)				320.97		1410.84	

5. 壁の耐力の算出

No. : 壁番号

Fw : 壁基準耐力(kN/m)

Kj : 接合部耐力低減係数、壁基準耐力及び積雪深により直線補間した値

①壁基準耐力による直線補間の計算方法、KjはFwにおける低減係数

壁耐力 Fw1 [Fw] Fw2

低減係数 Kj1 [Kj] Kj2

$$Kj = Kj1 + \{(Kj2 - Kj1) / (Fw2 - Fw1)\} \times (Fw - Fw1)$$

②積雪深による直線補間の計算方法、sKjは積雪深Sにおける低減係数

積雪深 S1 [S] S2

低減係数 sKj1 [sKj] sKj2

注)sKjは壁耐力で補間した多雪区域の低減係数

$$sKj = sKj1 + \{(sKj2 - sKj1) / (S2 - S1)\} \times (S - S1)$$

(Ka) : 開口壁における連続長さとの開口形状による調整係数

窓が掃出しと隣接する場合、掃出しとみなすため、Ka=0.5

開口壁の連続長さが3mを超える場合は、Ka=3000/L

窓が掃出しと隣接し、連続長さが3mを超える場合は、Ka=0.5×3000/L

無開口壁と隣接しない場合は、Ka=0

L : 壁長 (mm)

Qwi : 各壁の耐力 (kN)

Qw : 壁の耐力の合計 (kN)

Qe : その他の耐震要素の耐力 (kN)

Qu : 壁・柱の耐力 (kN) Qu=Qw+Qe

X,Y : 壁の座標 (m)

Xk,Yk : 剛心座標



: 壁耐力要素



: その他耐力要素

階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	Y	Qwi×Y	Yk	Qwi×(Y-Yk) <sup>2</sup>
1	X	W19	4.80	×	0.510	×	910	=	2.23	9.100	20.27	3.98	58.360
		W20	6.10	×	0.390	×	910	=	2.16	9.100	19.70		56.715
		W29	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	9.100	9.94		28.608
		W30	0.60	×	(0.194)	×	2,730	=	0.32	9.100	2.89		8.322
		W31	0.30	×	(0.388)	×	910	=	0.11	9.100	0.96		2.774
		W32	0.60	×	(0.194)	×	1,820	=	0.21	9.100	1.93		5.548
		W33	0.60	×	(0.194)	×	2,275	=	0.26	9.100	2.41		6.935
		HW16	5.20	×	1.000	×	910	=	4.73	3.640	17.22		0.552
		HW17	8.40	×	1.000	×	910	=	7.64	5.460	41.74		16.706
		W18	1.30	×	1.000	×	1,820	=	2.37	5.460	12.92		5.171
		W25	0.30	×	(0.549)	×	2,730	=	0.45	5.460	2.46		0.983
		W26	0.30	×	(0.549)	×	910	=	0.15	5.460	0.82		0.328
		W27	0.30	×	(0.549)	×	1,820	=	0.30	5.460	1.64		0.656
		W28	0.60	×	(0.000)	×	2,275	=	0.00	5.460	0.00		0.000
		W14	4.80	×	0.510	×	910	=	2.23	0.000	0.00		35.317
		HW15	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10	1.820	16.56		42.522
		W21	0.30	×	(0.471)	×	3,640	=	0.51	0.000	0.00		8.153
		W22	0.30	×	(0.000)	×	2,275	=	0.00	0.910	0.00		0.000
		W23	0.30	×	(0.000)	×	3,185	=	0.00	0.910	0.00		0.000
W24	0.30	×	(0.471)	×	3,640	=	0.51	1.820	0.94	2.403			
W37	6.10	×	0.390	×	910	=	2.16	0.000	0.00	34.321			



階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	Y	Qwi×Y	Yk	Qwi×(Y-Yk) <sup>2</sup>	
1	X	W38	2.60	×	0.880	×	910	=	2.08	1.820	3.79		9.729	
		W39	0.30	×	(0.471)	×	2,730	=	0.39	0.000	0.00		6.115	
		W40	0.30	×	(0.471)	×	2,730	=	0.39	1.820	0.70		1.802	
		(計)						Qu	=	39.40	Σ=	156.88	Σ=	332.018
								Qw	=	34.71				
						Qe	=	4.69						
階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	X	Qwi×X	Xk	Qwi×(X-Xk) <sup>2</sup>	
1	Y	W1	4.80	×	0.510	×	1,820	=	4.46	0.000	0.00	4.58	93.533	
		W2	6.10	×	0.390	×	1,820	=	4.33	0.000	0.00		90.897	
		W3	2.20	×	0.680	×	1,820	=	2.72	0.000	0.00		57.159	
		W4	2.20	×	0.680	×	910	=	1.36	0.000	0.00		28.580	
		W5	4.80	×	0.510	×	910	=	2.23	0.000	0.00		46.767	
		W6	4.80	×	0.510	×	1,820	=	4.46	0.000	0.00		93.533	
		W7	1.30	×	0.910	×	1,820	=	2.15	3.640	7.84		1.910	
		W8	6.10	×	0.390	×	910	=	2.16	8.190	17.73		28.184	
		W9	1.30	×	0.910	×	910	=	1.08	8.190	8.82		14.015	
		W10	1.30	×	1.000	×	910	=	1.18	8.190	9.69		15.401	
		W11	1.30	×	1.000	×	910	=	1.18	8.190	9.69		15.401	
		W34	0.30	×	(1.000)	×	1,820	=	0.55	3.640	1.99		0.484	
		W35	0.30	×	(1.000)	×	1,820	=	0.55	8.190	4.47		7.108	
		HW41	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10	4.550	41.41		0.009	
		HW42	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10	4.550	41.41		0.009	
		W12	4.80	×	0.510	×	1,365	=	3.34	13.650	45.61		274.777	
		W13	4.80	×	0.510	×	1,365	=	3.34	13.650	45.61		274.777	
W36	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	13.650	14.91		89.796			
(計)						Qu	=	54.38	Σ=	249.16	Σ=	1132.342		
						Qw	=	52.20						
						Qe	=	2.18						
階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	Y	Qwi×Y	Yk	Qwi×(Y-Yk) <sup>2</sup>	
2	X	W10	4.80	×	0.260	×	1,820	=	2.27	6.370	14.47	5.08	3.782	
		W11	2.20	×	0.630	×	910	=	1.26	6.370	8.03		2.100	
		W12	3.10	×	0.345	×	1,820	=	1.95	6.370	12.40		3.241	
		W13	4.80	×	0.260	×	910	=	1.14	6.370	7.23		1.891	
		W16	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	6.370	6.96		1.818	
		W18	1.80	×	0.760	×	1,820	=	2.49	5.460	13.59		0.360	
		W8	6.10	×	0.223	×	910	=	1.24	1.820	2.25		13.124	
		W9	5.70	×	0.233	×	910	=	1.21	1.820	2.19		12.814	
		W14	0.30	×	(0.549)	×	2,730	=	0.45	1.820	0.82		4.782	
		W15	0.30	×	(0.549)	×	2,730	=	0.45	1.820	0.82		4.782	
(計)						Qu	=	13.54	Σ=	68.77	Σ=	48.692		
						Qw	=	11.55						
						Qe	=	1.99						
階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	X	Qwi×X	Xk	Qwi×(X-Xk) <sup>2</sup>	
2	Y	W1	6.10	×	0.223	×	910	=	1.24	0.910	1.12	4.14	12.919	

階	方向	No.	Fw		Kj (Ka)		L		Qwi	X	Qwi×X	Xk	Qwi×(X-Xk) <sup>2</sup>
2	Y	W2	3.50	×	0.325	×	1,820	=	2.07	0.910	1.88		21.655
		W3	6.10	×	0.223	×	910	=	1.24	0.910	1.12		12.919
		W4	4.80	×	0.260	×	910	=	1.14	0.910	1.03		11.880
		W19	0.90	×	1.000	×	910	=	0.82	3.640	2.98		0.208
		W5	5.70	×	0.233	×	910	=	1.21	8.190	9.88		19.740
		W6	5.70	×	0.233	×	910	=	1.21	8.190	9.88		19.740
		W7	4.80	×	0.260	×	910	=	1.14	8.190	9.30		18.589
		W17	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	8.190	8.94		17.874
(計)							Qu	=	11.13	Σ=	46.15	Σ=	135.525
							Qw	=	10.04				
							Qe	=	1.09				

6. 耐力要素の配置等による低減係数（偏心率）【床の仕様】Ⅱ 火打ち+荒板（4m以上の吹き抜けなし）

$K_T$  :ねじれ剛性 =  $\Sigma \{ Q_{xwi} \times (Y - Y_k)^2 + Q_{ywi} \times (X - X_k)^2 \}$   
 $e$  : 偏心率 距離  $e_x = |Y_g - Y_k|$ ,  $e_y = |X_g - X_k|$ , 重心  $(X_g, Y_g)$ , 剛心  $(X_k, Y_k)$   
 $r_e$  : 弾力半径  $r_{ex} = \sqrt{K_T / Q_{ux}}$ ,  $r_{ey} = \sqrt{K_T / Q_{uy}}$   
 $Re$  : 偏心率 =  $e/r$   
 $eKfl$  : 耐力要素の配置等による低減係数、解表3.6により算出

階	方向	$K_T$	重心	剛心	$e$	$r_e$	$Re$	$eKfl$
2	X	184.22	4.10	5.08	0.98	3.69	0.267	0.720
	Y		4.55	4.14	0.41	4.07	0.100	1.000
1	X	1464.36	4.40	3.98	0.41	6.10	0.068	1.000
	Y		5.70	4.58	1.12	5.19	0.216	0.820

7. 劣化度による低減係数

【築10年以上】

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2		
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2		
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4		
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある			
バルコニー 手すり 壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い			
内壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2		
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	一般室 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2		
	廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1		
	床下	基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	
合計			19	2	

劣化度による低減係数	$dK = 1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) =$	0.89
------------	--	------

8. 上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 $Q_u$ (kN)	配置等による低減係数 $eKfl$	劣化度 $dK$	保有する耐力 $edQu = Qu * eKfl * dK$	必要耐力 $Q_r$ (kN)	上部構造評点 $edQu / Q_r$
2	X	13.54	0.720	0.89	8.67	20.33	0.42
	Y	11.13	1.000	0.89	9.91	20.33	0.48
1	X	39.40	1.000	0.89	35.07	67.99	0.51
	Y	54.38	0.820	0.89	39.69	67.99	0.58

(注)プログラムの計算は実数で行っている。上部構造評点 ( $edQu / Q_r$ ) に対しては小数点第3位を切り捨てる。

耐震診断依頼者 □□△△ 様

## 総合評価（計算結果）

## 【地盤】

地盤	施されている対策の程度	記入	注意事項
よい・普通の地盤		○	特に問題は無いと判断しました。
悪い地盤			
非常に悪い地盤 (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている 杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

## 【地形】

地形	施されている対策の程度	記入	注意事項
平坦・普通		○	特に問題は無いと判断しました。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積み 特別な対策を行っていない		

## 【基礎】

基礎仕様	状態	記入	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	部分改修部分の基礎は、健全になるように補修します。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他(ブロック基礎等)			

## 【上部構造】

上部構造評点のうち最小の値	0.42（倒壊する可能性が高い）
---------------	------------------

注) 1.5以上:倒壊しない 1.0～1.5未満:一応倒壊しない 0.7～1.0未満:倒壊する可能性がある 0.7未満:倒壊する可能性が高い

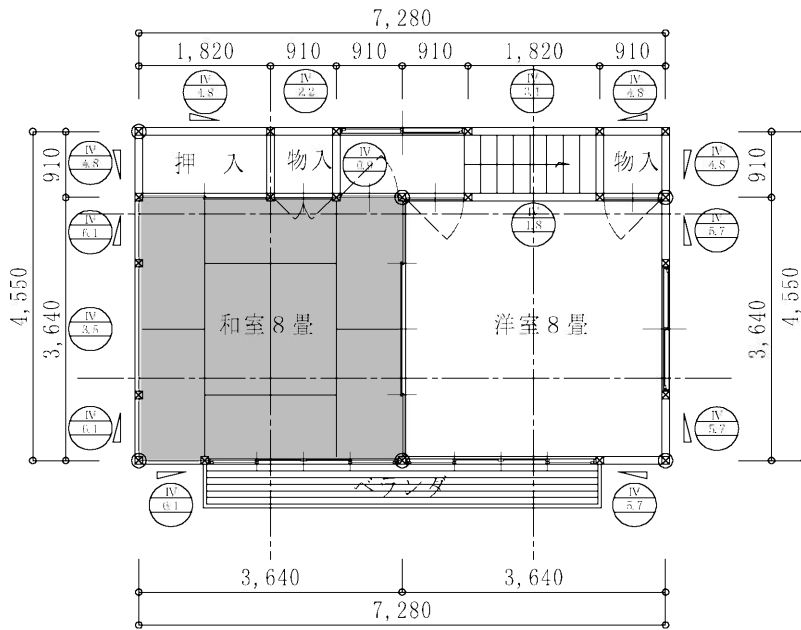
## 【計算メッセージ】

※1.基礎・接合部の仕様が個別設定された壁があります。

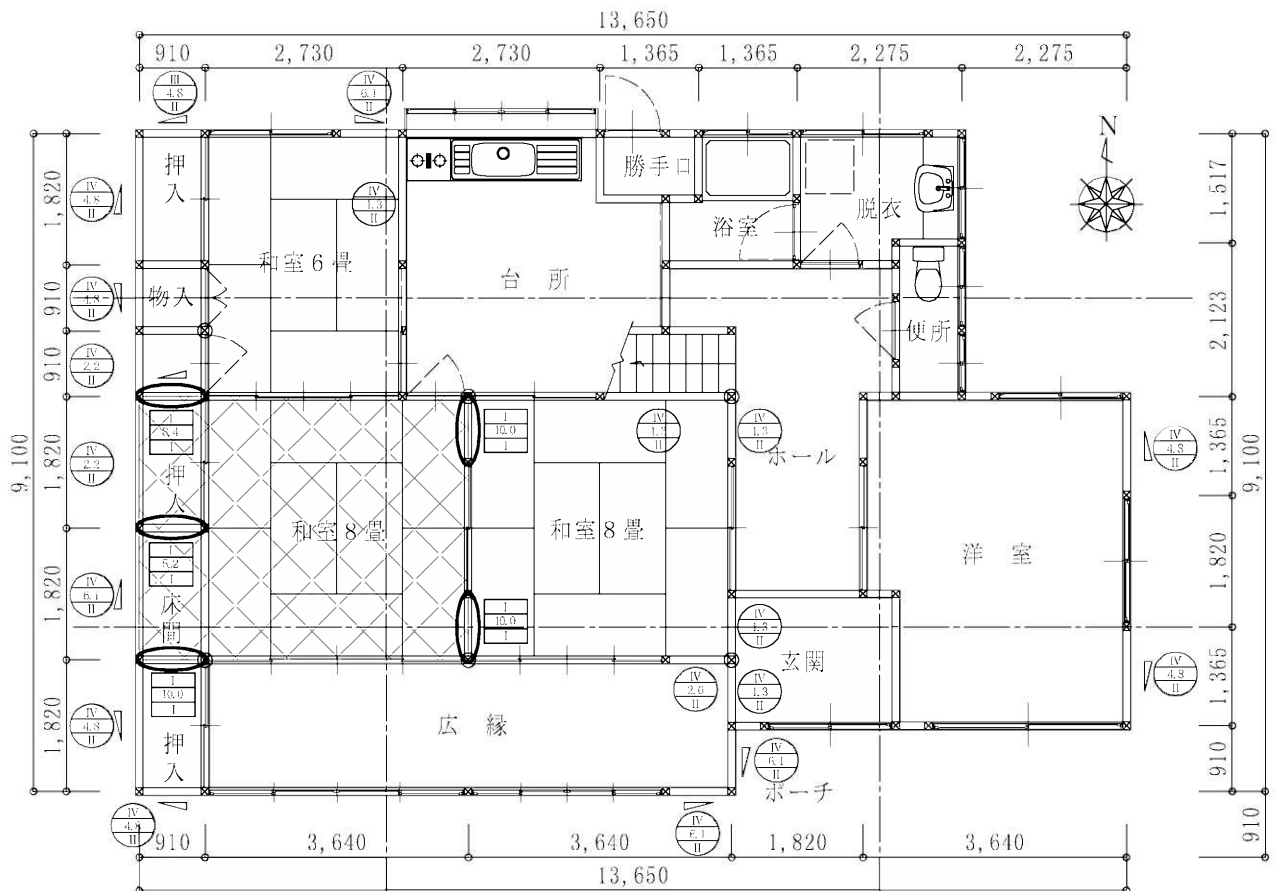
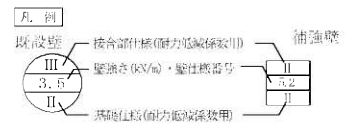
## 【その他注意事項】

利用することが多い1階和室1部屋のみの補強を行い、部分評点が目標値を満たす結果となりました。(②-i-iii)  
また、建物全体として、改修後の上部構造評点が改修前を下回らないことを確認しました。(②-ii)

診断者	耐震太郎	講習会	主催者	公共団体 (福島県)
所属	福島建築設計事務所		講習修了番号	県中建設事務所 64
連絡先	〒000-0000 福島県〇〇市〇〇町〇〇番地 TEL:024-000-0000			



2階既設平面図 S=1/100



面積表

1階床面積	: 110.97㎡
2階床面積	: 33.12㎡
延べ床面積	: 144.09㎡
建築面積	: 110.97㎡

1階補強計画図 S=1/100

